

ひとを育む まちをつくる

— 成熟社会かながわへ

日 時 2011年3月19日(土)13:30~16:50 / 20日(日)9:30~17:00
会 場 湘南国際村センター (神奈川県葉山町)
聴 講 者 80名 (応募者多数の場合は抽選)
参 加 費 2,000円 (学生1,000円)



(前回の様子)

◆モデレーター

神野 直彦 東京大学名誉教授

◆21世紀かながわ円卓会議運営委員会

樺山 紘一 印刷博物館館長／東京大学名誉教授

高島 肇久 株式会社日本国際放送代表取締役社長

山崎美貴子 神奈川県立保健福祉大学学長

福原 義春 財団法人かながわ国際交流財団理事長

武藤 誠 財団法人かながわ国際交流財団常務理事



神野 直彦 東京大学名誉教授



主 催 財団法人かながわ国際交流財団・神奈川県

多様な分野から集う講師・討議者が闘わせる議論によって “ひとを育むまち”の姿を描き出す2日間のプログラム

路線バス：JR 逗子駅発 12：53 / 京急汐入駅発 12：47

1日目

3/19(土)

13:30～16:50

開 会 13：30～

開会挨拶 13：40～

趣旨説明 「人間を高める地域社会の創造」 13：50～(40分)

モデレーター 神野直彦（東京大学名誉教授）

コーヒープレイク 14：30～(20分)

ダイアログ 14：50～(120分：冒頭発言20分×2名+討議80分)

冒頭発言① 奥山恵美子（仙台市長）

冒頭発言② 諸富 徹（京都大学大学院経済学研究科教授）

1日目終了 16：50

路線バス：JR 逗子駅行き 17：40 / 京急汐入駅行き 17：45

路線バス：JR 逗子駅発 8：23 / 京急汐入駅発 8：09

高速バス：横浜駅〈YCAT〉発 8：55

2日目

3/20(日)

9:30～17:00

セッション1 「地域力で育む教育」 9：30～(90分：レクチャー 20分×2名+討議50分)

県内教育従事者 竹原和泉（横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長）

講 師 佐藤晴雄（日本大学文理学部教育学科教授）

コーヒープレイク 11：00～(10分)

セッション2 「地域力で育む医療」 11：10～(90分：レクチャー 20分×2名+討議50分)

県内教育従事者 沢田貴志（横浜・港町診療所所長）

講 師 色平哲郎（JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長）

昼 食 12：40～(60分)

セッション3 「地域力が育まれるコミュニティの姿」 13：40～(90分：レクチャー 20分×2名+討議50分)

県内教育従事者 斉藤 保（港南台タウンカフェ代表）

講 師 西村幸夫（東京大学先端科学技術研究センター教授）

コーヒープレイク 15：10～(20分)

総括セッション 15：30～16：40（70分）

冒頭発言 平井竜一（逗子市長）

閉 会 17：00

路線バス：JR 逗子駅行き 17：40 / 京急汐入駅行き 17：45

高速バス：横浜駅〈YCAT〉行き 18：13

ひとを育むまちをつくる — 成熟社会かながわへ —

— 地域力を高め、人間の内面性を豊かにするために
求められる生活環境や教育、医療とはどのようなものなのか
— それを支える基盤であるコミュニティについて、
そこでの地域経済圏の確立や地域文化の
独自性・多様性の保持・創出をいかに実現させていくのか

「21世紀かながわ円卓会議」は、グローバリゼーションという大きな潮流の中で、独自性・多様性が損なわれつつある地域社会の今後のあるべき姿について、自治体首長、多分野にわたる研究者、ジャーナリスト、神奈川の実務家などが一堂に会して議論を行い、葉山から日本の未来のあるべき社会像を発信するものです。

今回は「ひとを育むまちをつくる」をテーマに掲げ、神奈川県内での実践例を取り上げながら、人間の内面性を豊かにするために求められる教育、医療とはどのようなものなのか、そして、そうした地域力を高め、育むまちづくりについて討議します。

私たち一人ひとりが「自らのまちをつくっていく」意識を醸成することが、地域主権社会を実現していきます。実績のある自治体首長や研究者、実践家らが、対話を重ねながら討議をし、よりよい未来を描き出す提言を紡ぎ出します。皆様のご参加をお待ちしております。

成熟社会かながわへ向けてアプローチするための 趣旨説明とダイアログ、そして3つのセッション

<趣旨説明「人間を高める地域社会の創造」> 神野 直彦 東京大学名誉教授

<ダイアログ> ①奥山恵美子 仙台市長 ②諸富 徹 京都大学大学院経済学研究科教授

<セッション1「地域力で育む教育」>

- ①竹原 和泉 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス館長
- ②佐藤 晴雄 日本大学文理学部教育学科教授

<セッション2「地域力で育む医療」>

- ①沢田 貴志 横浜・港町診療所所長
- ②色平 哲郎 JA長野厚生連・佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長

<セッション3「地域力が育まれるコミュニティの姿」>

- ①斉藤 保 港南台タウンカフェ代表
- ②西村 幸夫 東京大学先端科学技術研究センター教授

<総括セッション> 平井 竜一 逗子市長

◆討議者（各セッションの討議にご出席される方々）

- | | |
|--|--|
| 市川 一宏 ルーテル学院大学学長 | 露木 順一 開成町町長 |
| 川崎 あや NPO 法人アクションポート横浜常務理事 | 鶴田 光子 NPO 法人多言語社会リソースかながわ〔MIC かながわ〕理事長 |
| 古賀 敬之 神奈川新聞論説副主幹 | |
| 迫田 朋子 NHK 放送総局番組制作局教育番組センター
チーフディレクター | 中牧 弘允 国立民族学博物館民族文化研究部教授 |

※プログラムの内容などは、都合により一部変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

聴講 お申込み

聴講申込書(以下)もしくはメールに必要事項を記載してお申込ください。申込み締切は3月14日(月)です。申込者多数の場合には抽選となりますが、締切後、結果の如何に関わらず、お申しいただいた方全員へご連絡いたします。
※ご登録いただいた個人情報は、当財団のみが取り扱い、本フォーラムの事務や当財団のイベントのご案内以外の目的には使用いたしません。

昼食 お申込み

昼食は湘南国際村センター内2階のレストラン“桂”または1階のカフェテリア“オーク”のご利用ができます。“オーク”での食事(1,200円)は事前申込みが必要ですので、ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。

【聴講申込書】ひとを育むまちをつくる ー成熟社会かながわへ

ファックス **046-858-1210** メール shimizu@kif.ac

フリガナ

氏名

所属

部署

住所

電話

ファックス

メール

【3月20日昼食(1,200円)】 ☐希望する(当日に参加費とともにお支払いください)

【インタビュー集『知をめぐる対話』(500円)】 ☐希望する(→☐当日受渡し または ☐事前送付)

交通案内

①逗子駅・新逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR逗子駅前1番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、340円。JR逗子駅発車後2〜3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。

②京急汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。約30分、370円。

【タクシーをご利用の場合】 JR逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、約2,800円。

【高速バスをご利用の場合】 横浜駅東口<Y-CAT>より湘南国際村センターまで約40分、900円。

【交通案内HP】

<http://www.shonan-village.co.jp/access.html>



【問合せ】(財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター(担当:清水)

電話 046(855)1821 メール shimizu@kif.ac

■インタビュー集『知をめぐる対話』

財団ニュースレター掲載のインタビュー集。“現在を見つめ、未来を描く”湘南国際村学術研究センターの事業にご協力いただいた、多分野にわたる方々へのインタビューを収録。

【私たちの世界】 樺山紘一・藤原帰一・田中均

【豊かに生きる】 竹内恒夫・池内了・江藤裕之

【女性と自立】 坂東眞理子・山崎美貴子

【アートのか】 建畠 哲・北川フラム・山梨俊夫

【未来を描く】 小平桂一・鈴木佑司・神野直彦

ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。当日受渡しではなく、事前送付をご希望の場合は「ご案内」「お振込み銀行口座」をお送りします。(500円/A4判/70ページ)

好評
販売中

